



もう一步先の、耐熱ガラス

GLASS  ecology

e · sept.1

安心・安全・環境保全の目印です。



医学や理化学の分野で安全性が高く評価されている耐熱ガラスを主体に使い、電子レンジで加熱をしても環境ホルモンの出ない、不安が残る素材は一切使わない製品を皆様にお届けします。これは保存容器類に添付・表記しています。



(社)日本硝子製品工業会が「耐熱ガラス」であることを認証した「耐熱認証シール」を、ハリオが保証する耐熱ガラス製品に添付しています。



## 人と環境に配慮したモノ作り。

ハリオの耐熱ガラスは、100%天然の鉱物を精製したものを原料とし、1972年以來「煙突のない工場」で生産しています。「煙突のない工場」の実現は、ガラス原料を重油ではなく電気によって溶かす独自の技術開発の成功によるものでした。ガラス工場といえば煙りと粉塵の害がひどい、といった常識を変え、工場隣接の環境を乱す事なく、また中で働く社員に対しても配慮された職場環境を生み出しました。

## 安心・安全が原点です。

耐熱ガラス素材だけでなく、金属やプラスチックと組み合わせた製品が多いのもハリオ製品の長です。特に、プラスチック素材については、電子レンジで加熱をしても環境ホルモンの出ない素材を使用しています。疑わしきものは使わず。不安が残る素材は一切使わない製品をお届けしています。

## 「もったいない」主義は40年前から。

サイフォンのガラスボールやハリオール「ガラスボールが割れた」「茶こしが汚れた」等、製品の一部分が割れたり汚れた場合、部品を交換して使うシステムが、ハリオには40年前から整っています。「直して、生かし、長く使う」当たり前の事を、当たり前に、部品交換システムはこれからも続けていきます。